



『もっと！！本野通信』

No.57

諫早市立本野小学校長 永 井 洋

本明川に今年も！！

こいのぼりが出現

20日に保護者、地域の皆様と一緒にこいのぼりをあげました。本野ふれあい会館と本校前の2か所に、およそ100匹の鯉のぼりが気持ちよさそうに泳いでいます。お休みの中本当にありがとうございました。



「鯉のぼり」の由来は、お隣の中国の故事「登竜門」とされていますが、日本独自の風習のようです。本野小学校の66名の児童全員が、すくすくと成長することを願うばかりです。全く話は違いますが、わたしは、プロ野球広島東洋カープのファンです。（カープは英語で鯉を意味します）鯉のぼりの季節、カープの調子がよいようで、新聞を読むたびにニヤニヤしてしまいます。今年も福岡と広島に応援に行きます！！（この季節を過ぎてがんばれ！！カープ🇯🇵）

合同体育

互いの学年がよい手本となります

体育の学習は、1・2年生、3・4年生が週に3回合同で行われています。人数が増えることで、ゲームや鬼ごっこが楽しくなるようです。また、1年生も2年生をモデルに、準備運動、整列、集合などすでにできるようになっていて驚きました。互いに刺激し合うのはよいことだと改めて感じました。今年の運動会でも子どもたちの頑張りがたくさん見られそうです。



指導の徹底で見えてくること

子どもたちはできます

右の写真は、最近の1年生下足箱と傘をたたむ2年生の様子です。本野小では、靴並べや傘たたみ、廊下歩行、掃除など、皆が気持ちよく過ごせるように全校で一緒に、基準や方法を決めて取り組んでいます。



先日の雨の日、玄関で「なぜ揃えた方がよいのか」「なぜたたむのか」など、その理由を子どもたちにもわかるように指導しました。すると…、何も言われなくても、見ていた1年生が傘をたたみ始めました。嬉しい瞬間です。



「まだ1年生だからしょうがないか」ではなく、もう1年生保育園や幼稚園でできていたことはもちろん、新しいことにどんどんチャレンジさせていきたいです。ぜひご家庭でも、できそうなことには、どんどんチャレンジさせてみてください！！

